

第一復建「世代を超えた対話でチーム力向上！傾聴スキルを磨く3層別ワークショップ」開催
コミュニケーションが組織の基盤、多様な世代をつなぎ未来を創る



世代を超えた対話と傾聴でチーム力を上げる、中堅リーダーWS

建設コンサルタントの第一復建（藤山勤社長）は、組織の世代間コミュニケーション強化を目的とした3層別のワークショップを本社（福岡市博多区上牟田）にて開催した。同社では社員研修を段階的に拡充してきており、2019年に管理職向け、2020年に若手社員向け、さらに2021年からは中堅社員向けの研修を実施してきた。2014年度から2024年度の10年間で従業員数が約1.8倍、特に20～30代前半の若手が2.5倍と大幅に増え世代構成が大きく変化している。こうした状況を踏まえ、チームマネジメント力の強化や若手育成の強化を重点課題とし、今年は特に「自発的な学びの促進、発言する場を広げたい」と考え、自主発言・対話を重視したワークショップ形式へ進化させた。

今回のワークショップでは、講師として2019年から協力関係にある（一社）社会価値創造デザイン研究機構にファシリテータを依頼し、若手、中堅リーダー層、部門長を中心とする3層それぞれに特化したワークショップを実施した。

若手向けの「若手向ステップアップワークショップ」は、入社3～8年程度の社員を対象に6月と8月の2回開催し9名が参加。期間中はタイムライン共有によるチームビルディングや自社の歴史探求・先輩社員との交流で自社理解などに取り組んだ。参加者からは「一体感を実感」、「普段の業務いでは学べない業界



一体感が育まれる、若手ステップアップWS

や会社のことを理解した」との声が聞かれた。



対話と傾聴のスキルを磨く、管理者向けWS

っかりとることが、結果的に仕事がスムーズになる、と話す。

管理職向け「組織力向上ワークショップ」は、現部門長や部長候補を対象に5月から10月にかけて1日の集合ワークショップを2回とオンライン半日の補講3回を実施、14名が参加した。対話と傾聴の練習をオンラインで学んだ。参加管理職からは「メンバーとの向き合い方をもっと深く考えるようになった」など、好評を得た。

同社では、今後も今回のワークショップで得られた知見と成果をもとに、世代を超えた相互理解を促し、組織全体のチーム力向上を目指す。

中堅リーダー層向けの「チーム力向上ワークショップ」は、30歳代中堅社員からシニア社員まで世代混合型、17名が参加した。5月から9月にかけて1日のプログラムを計4回実施。対話的関わりの重要性や傾聴の練習を中心に、学びと現場実践を交互に行うアクションラーニングを実践した。参加者からは「先入観が薄れ、自然な対話が可能に」、コミュニケーションをし